



筑波大学
University of Tsukuba

PATIENT HANDBOOK

入院のしおり

入 院 さ れ る 方 へ

University of Tsukuba Hospital

筑波大学附属病院



筑波大学附属病院

<https://www.hosp.tsukuba.ac.jp>



目次

CONTENTS

Ⅰ 筑波大学附属病院の理念と基本方針	2
Ⅱ 教育・研究・地域連携	3
Ⅲ 入院のご連絡・手続きについて	5
Ⅳ 入院生活について	8
Ⅴ 入院中に守っていただきたいこと	10
Ⅵ 入院費のお支払いについて	12
Ⅶ 「医療安全」についての病院からのお願い	14
Ⅷ 患者相談について	16
Ⅸ 利便施設について	17
Ⅹ 交通のご案内	21

I 筑波大学附属病院の 理念と基本方針

◆ 理念 ◆

良質な医療を提供するとともに、優れた人材を育成し、医療の発展に貢献します。

◆ 基本方針 ◆

- 安全で質の高い医療を提供します。
- 医療の使命と責任を自覚し、豊かな人間性を有する優れた医療人を育成します。
- すべての職種が参画するチーム医療を推進し、地域社会との連携を図ります。
- 健康、医療に関わる知識の普及に努めます。
- 疾病の研究と先進的な医療技術の開発を通して、国際社会に貢献します。

◆ 医療を受ける人の権利 ◆

- 人として尊重された医療を受けることができます。
- 説明と情報提供を受けた上で、治療方針等を自らの意思で選択することができます。
- 他の医療機関の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- 医療・福祉などの相談をすることができます。
- 教育実習や研究への協力を自由意思で決定することができます。
- 個人情報とプライバシーは適切に保護されます。
- 診療費の詳細を知ることができます。

◆ 医療を受ける人の義務 ◆

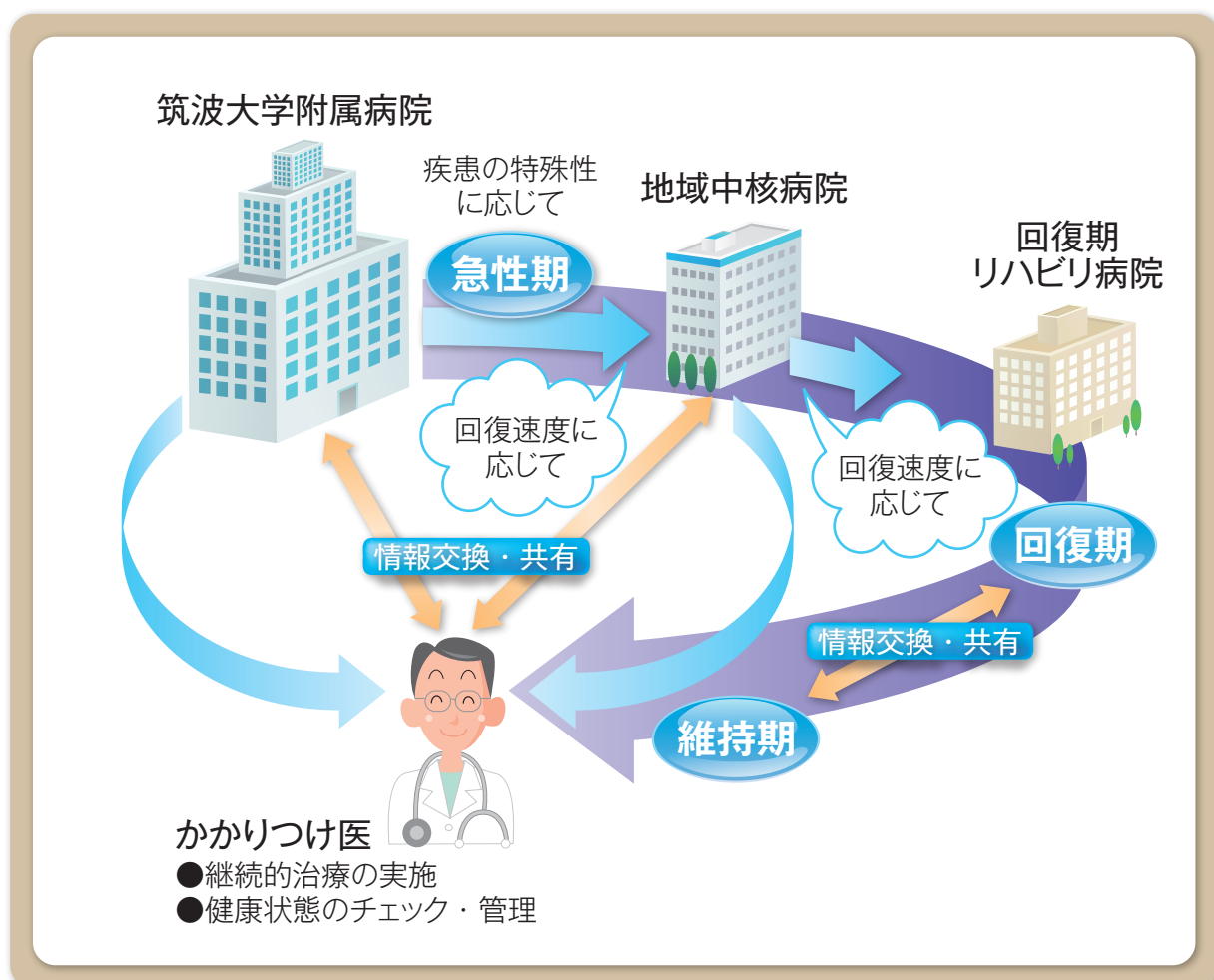
- ご自身の健康状態等に関する情報は、できる限り正確に提供してください。
- 本院のルールに従い、診療や管理運営に協力してください。
- 診療の支障となったり、他の方の迷惑となる行為は慎んでください。
- 受けた医療サービスに対する費用をお支払いください。

Ⅱ 教育・研究・地域連携

本院は、特定機能病院の認定を受け、地域の基幹病院として高度かつ専門的な医療を中心的な役割として行っております。大学病院での専門的検査や治療が終わり、安定した経過観察や、日常の投薬につきましては、地域の医療機関に逆紹介させていただくことになります。質の高い医療を行うことを目的に、厚生労働省は医療機関の役割分担を進めています。医療機関のそれぞれが機能を生かして、患者さんに適切な医療を行うために「かかりつけ医」との連携を推進しています。そのため、病状が安定、回復しましたら、紹介元や近隣の医療施設に戻っていただくことになります。

また、健康診断等の施設ではありませんので、その場合には自治体や事業所の健康診断等をご受診ください。

退院や転院、療養に関してのご相談は、「医療連携患者相談センター」などの窓口等をご利用いただき、早期退院に対してのご理解とご協力をお願いします。



研修医・実習生の受け入れについて

本院は、教育・研修病院として医療専門職の教育や新しい医療の研究・開発を行っております。臨床研修病院として指導医のもとで研修医も診療をしています。ご理解とご協力のほどお願い致します。また、将来の医療を担っていく医学部、看護学部、薬学部などの学生の臨床実習も多く受け入れております。必要な教育を受け、医師法に定める試験に合格した医学生も、医師の指導監督のもとで、医療行為を行わせていただきます。ご了解の上で臨床実習させていただきますが、ご不明な点やご不満などがございましたらご遠慮なく、担当医や患者サポートデスクにお申し出ください。

看護師の特定行為及び実習の実施について

特定行為とは、医師が予め作成した手順書によって看護師が一定の診療の補助を行うことにより、患者さんに必要な医療をより迅速に提供することができる行為で、国が認め、推進している制度です。

本院は、平成28年に厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修機関として指定を受け研修を開講しています。この研修を終了し、さらに病院から実施することの承認を得た看護師（特定看護師）が特定行為を実施しています。また、実習施設として指導医のもと、研修生（実務経験5年目以上の看護師）が実習で特定行為を実施したり、診療に同席することがあります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、研修修了生による特定行為の実施、研修生の同席や特定行為の実施にご同意をいただけない場合は、受付やスタッフまでお申し出ください。

治験について

本院では、「治験」を行っております。「治験」とは、医薬品（薬剤）や医療機器などの製造販売に関して薬事法の法律のもと試験的に使用し、その効果や安全性を確立させることです。実施の際は、主治医や治験コーディネーターなどが説明を行い、ご理解・ご納得いただいた上で実施しております。治験について質問があれば、主治医や治験担当スタッフまでお尋ねください。

臨床研究について

本院は大学病院として新薬や治療法等の開発など臨床研究を行う施設でもあります。新薬等の治験や、治療法の比較などを行う臨床試験への参加をお願いすることもあります。その場合は、文書によりご説明しご同意をお願いします。一方、診療に伴い生じた試料（残余検体）や診療情報を、疾患研究や最適な医療を提供するために行う臨床研究に使用させていただくことがあります。その結果を公表する場合は、個人を特定できないように処理を行います。具体的な個々の研究内容は病院のホームページにてご案内しますので、もし、臨床研究への利用にご同意いただけない場合は、お申し出ください。

なお、教育や臨床研究への参加は自由意思で決定でき、お断りになられても治療上、不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

Ⅲ 入院のご連絡・ 手続きについて

Ⅰ 入院のご連絡

入院日は、原則として入院する前の週の金曜日にお電話でご連絡します。

入院保証書はご記入の上、必ずご持参ください。お手元がない場合はホームページからダウンロード可能です。

Ⅱ 入院日の流れ・手続きについて

1 入院の流れについて

入退院センターへお越しいただき、発券機で番号券をお取りください。

【小児病棟へ入院の場合】

感染症のチェックが必要となります。お子さんは、もともと免疫力が低いとされています。病棟内で入院中のお子さんの感染拡大を防ぐために病棟にお入りになる前に「感染症チェック」を行っております。

2 入院生活での持ち物について

入院は、共同での生活になりますので、間違いを防ぐために必ず持ち物には油性のマジックでお名前を記入してください。

入院手続きに必要なもの

入院当日は、下記のものをご準備ください。

- ☐ 診察券 ☐ 保険証 ☐ 入院保証書 ☐ 印鑑 ☐ 各種医療受給者証
- ☐ 限度額認定証（申請した場合、交付され次第早めにご提示ください。）
- ☐ お薬手帳 ☐ 退院証明書（交付されていればご持参ください）

入院生活に必要なもの

入院当日は、下記のものをご準備ください。

- ☐ 洗面用具（ボディーソープ、シャンプー、リンス、歯ブラシ、歯磨き粉）
- ☐ はし、スプーン等 ☐ コップ
- ☐ 履き物（かかとのあるすべりにくい靴）
※スリッパやサンダル（クロックス等も含む）は不可
- ☐ ティッシュペーパー ☐ 本など
- ☐ 必要時メガネ、補聴器、義歯等（ケースをご準備ください。）
- ☐ イヤホン（テレビ等視聴時はイヤホンを使用していただきます。）
- ☐ バスタオル（3枚程度） ☐ フェイスタオル（3枚程度）
- ☐ パジャマ（2～3枚程度）
- ☐ 下着（必要な方はオムツ）
- ケアサポートセット（入院時必需品レンタルシステム）については別のパンフレットをご確認下さい。

3 限度額適用認定証について

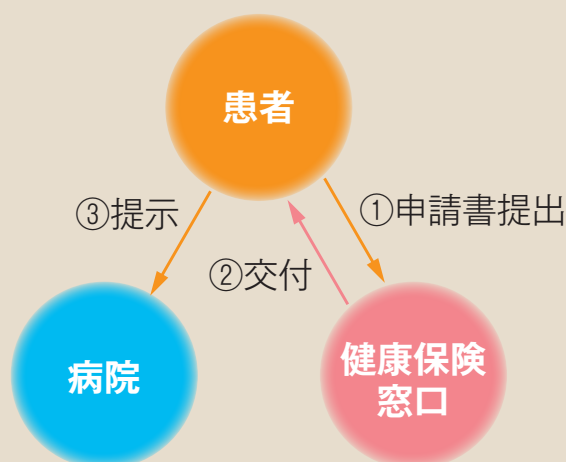
病気で入院された場合は、経済的な負担が大きくなりますので「限度額適用認定証」をご活用ください。入院前に患者さんから保険者へ申請する必要があります。

70歳以上で「現役並み所得者3.」及び「一般」の方は申請の必要がありません。

限度額適用認定証を申請しない場合、入院費用の自己負担額を全額、窓口で支払う必要があります。

手続き方法

- ①加入している健康保険担当窓口へ、限度額適用認定証交付申請書を提出。
- ②交付
- ③交付されたら、健康保険証と一緒に入院時に入退院センターに提示。



窓口負担額は、医療機関ごとに1か月につき、自己負担限度額までとなります。なお、**入院時食事療養の標準負担額や差額室料などは対象になりません。(実費)**

限度額適用認定証に関する申請やご質問等については、現在加入されている健康保険組合、全国健康保険協会、市町村（国民健康保険）、国保組合、共済組合までお問い合わせください。

4 衣類について

- 普段ご使用されているものをご持参ください。（衣類は前開きのものが便利です。）下着も同様にご準備ください。
- パジャマは、ご自身でご用意していただく他、レンタルもご利用できます。日中はふだん着で過ごされても構いません。



5 清潔道具について

- 洗面、沐浴や入浴、清拭（体を拭く）時などに使用しますので、以下のものをご準備ください。バスタオル…3枚程度、フェイスタオル…3枚程度、ガーゼハンカチ（1歳前後の場合）…3枚程度
- ボディーソープや石鹸、シャンプー、歯みがき等
- くし、ブラシ、髪を結ぶものなど必要な方は、ご用意ください。
- ドライヤーは病棟に用意しております。ご利用の際は、病棟スタッフにお申し出ください。

6 食事について

- 箸、スプーン、フォーク、コップ（落としても割れないもの）をご準備ください。
- 配茶は行っておりません。

7 病院内での履物について

- 入院中の履き物は、転倒防止のため、スリッパなどではなく、普段履き慣れた滑りにくい運動靴などをご持参ください。むくみのある方は看護師にご相談ください。



8 その他

- ティッシュペーパー…1箱
- 汚れた着替えなどを入れるために袋等をご準備ください。
- 電気器具の持ち込みはご遠慮ください。
- 診療に支障がないようマニキュア・ペディキュア・ジェルネイル・まつ毛エクステンション等は必ず入院前に落としてください。



電気シェーバー、携帯電話（充電器を含む）の持ち込みは許可されています。
スマートフォン、ノートパソコンは持ち込み使用は可能ですが、指定された場所でご使用ください。
その他、不明な点は入退院センターへご相談ください。

9 付き添いについて

- 原則として、付き添いの必要はありません。事情によりご家族の付添いを希望される場合は、医師または看護師にご相談ください。患者さんの病状等により、ご家族のご協力をお願いすることがあります。

お願い

保険証・各種医療受給者証は、入院後も毎月確認しますので、月初めになりましたら「入退院センター」へお持ちいただきますようお願いいたします。
また、公費負担医療の申請手続きの方や、交通事故等の方の場合は、必ず「入退院センター」にお申し出くださるようお願いいたします。

Ⅳ 入院生活について

入院後に受けられる検査や治療、手術について「入院診療計画書」や「クリニカルパス」などを用いてご説明いたします。検査や治療内容、看護の内容などについてご不明の点やご質問がありましたら、遠慮なく医師や看護師にお尋ねください。

1 入院中の看護体制について

本院では、患者さんの状態に応じて安全でよりよい看護サービスを提供できるよう、病棟によって看護師の配置人数を変えております。

2 入院中の1日の流れについて



6:00～8:00	起床 朝の検温（体温や、脈、血圧、体重など病状に合わせて測ります。） 採血（状況によって採血があるときがあります。） 朝の身支度
8:00	朝食 （手術や検査がある場合や状況によってはお食事が出ない場合もあります。）
9:00～12:00	状況に合わせてお声かけします。 お薬の確認をします。 ※必要に応じて自己管理の練習をしていただくこともあります。 午前中の検温（体温や、脈、血圧、体重など患者さんの状況に合わせて測ります。）
12:00	昼食 （手術や検査がある場合や状況によってはお食事が出ない場合もあります。）
13:00～18:00	状況に合わせてお声かけします。 お薬の確認をします。 昼の検温（体温や、脈、血圧、体重など患者さんの状況に合わせて測ります。）
	沐浴や入浴、シャワーは日中に行います。
18:00	夕食 （手術や検査がある場合や状況によってはお食事が出ない場合もあります。）
19:00～21:00	自由にお過ごしください。 お薬の確認をします。 夜の検温（体温や、脈、血圧、体重など患者さんの状況に合わせて測ります。）
21:00	消灯



患者さんの病状により変わることもありますが、
おおよその一日の流れです。

3 病院でのお食事について

- 入院中のお食事は、担当医師の指示により、患者さんの病状や治療の状況または、体格に合わせ、治療食として適正に召し上がっていただけるように準備しております。食べにくい場合や食事の形態が合わないような場合は、医療スタッフにご相談ください。アレルギー等がある場合は、予め医療スタッフにお伝えください。
- 宅配（デリバリー）はお断りしています。ご遠慮ください。
- 食欲状況を把握するため、摂取量を記録していますので、ご家族の方は残りをお食べにならないようお願いいたします。
- 朝食はパンか米飯を選ぶことができます。（治療上、選択できない食事の種類もあります。）
- 食品の持ち込みは、食中毒や害虫の発生を防止する上からもご遠慮ください。ただし、治療上どうしても必要な場合はご相談に応じます。
- アレルギーや宗教上の理由から禁止食品がある場合には、お申し出ください。できる限り対応いたします。禁止食品の程度については、管理栄養士が聞き取りをさせていただきます。なお、嗜好上の理由のためだけでは対応をお断りさせていただく場合がありますのでご承知ください。
- 病院食の味付けは、化学調味料を極力使用せず、天然のだしやうま味を生かして調理をしています。塩分量は1日9g以下で調整しております。
- 患者さんのご都合により、食事を取り消しされたものについては、患者さんの負担となりますので、ご注意ください。

4 面会について

荷物の受け渡しは平日午前10時～午後5時です。

- 面会時間は、午後2時～午後4時に限り30分以内。（NICU・GCUは除く）面会人数は最大2名まで、12歳未満禁止とさせていただきます。
熱や風邪症状がある方は面会できません。
- 病状によっては、ご家族以外の方のご面会をお断りすることがあります。面会時は他の患者さんのご迷惑にならないよう、ご配慮願います。
- 病棟での飲食は、固くお断りいたします。
- ご面会の方は、病院正面玄関入口警備員室で、面会申込書をご記入していただき、面会証シールを貼ったうえ、入院棟にお越しください。
- 感染予防のため、面会前に手指衛生（手洗い・手指消毒）を十分に行ってください。12歳未満の方の病室内での面会はできません。面会をご希望する方は看護師にご相談ください。
- 面会についてのご質問・ご希望がありましたら看護師にお申し出ください。

5 入院中のご家族の駐車場について

入院患者さんのご家族の方へ患者さんお一人に対して、駐車場無料化カード1枚をお渡しいたします。ご帰宅時に警備員室（正面玄関脇）で、駐車券とともに無料化カードをご提出いただきますと、1日につき1回のみ無料化の処理をいたします。病院からのお願いで来ていただいた場合は、この限りではありません。

無料化カードは身体障害者専用駐車場では、利用できません。また、**再発行はいたしませんので、紛失等、お取扱いにご注意ください。**無料化カードの更新は入退院センターで受け付けます。(平日：8：30～17：00)

入院される方ご本人による入院中の駐車は固くお断りします。

6 入院中のお部屋の移動について

- 病状の変化や手術・処置等により、お部屋を移動していただくことがあります。
- お部屋を移動の際は、患者さんと共に持ち物も全て移動していただきます。
- 移動する病棟（ICU / HCU など）によっては、持ち物を制限させていただく場合があります。不必要な持ち物は一旦ご自宅にお持ち帰りください。
病棟でお荷物のお預かりはしておりません。
- 特に貴重品に関してはご家族の方に管理していただいております。
- けやき棟 1・8 階のコインロッカーもご利用になれます。

V 入院中に守っていただきたいこと

入院は、だれにとっても不安で苦痛なことです。それでも検査・治療しなければならない状況があります。よりよい、入院生活を送るために、以下のことにご協力ください。

1 迷惑・危険行為の禁止

- マナーを守り節度ある行動をお願いします。特に携帯電話に係わるトラブルが増えておりますので、節度あるご使用をお願いします。多床室での通話をご遠慮ください。
- 病院の敷地内は全て禁煙（電子タバコを含む）となっております。ライターなど火気の持ち込みも禁止です。
- 売買行為や勧誘等は禁じております。
- 飲酒、暴力行為、喫煙、大声、暴言または脅迫的言動は固く禁じます。場合によっては直ちに、退院していただくこともあります。
- 消灯時間は午後9時です。消灯後はテレビ、パソコンの使用はご遠慮ください。また、大部屋では、テレビなどはイヤホンを使用し他の患者さんのご迷惑にならないように使用してください。
- 携帯電話は、掲示してある留意事項を熟読した上で指定された場所でご使用ください。
- 院内における写真および動画の撮影はご遠慮ください。



- 電気器具の持ち込み等をご遠慮ください。
- 機器設備・建物設備等を重大な過失により破損した場合は、弁償していただくことがあります。

2 外出・外泊・他医療機関受診について

- 外出・外泊はやむを得ない事情がある場合に限り認められます。
- 外出・外泊をご希望の方は、必ず医療スタッフにご相談ください。無断での外出・外泊は禁止しております。病状によっては、希望しても外出・外泊ができない場合もありますので、事前にご相談ください。
なお外泊は、原則1泊2日までとなっております。
- 保険診療の制度では、入院中は他の医療機関では診療費が算定できないため、他の病院を受診したり薬の処方（内服薬、目薬、湿布、点鼻薬、軟膏等）を本人又はご家族が代理で受け取ることはできません。やむを得ず他の医療機関を受診するようなことがございましたら医師、看護師等にお申し出ください。

3 防災・防犯について

- 入院時に病棟内の非常口等をご確認ください。
- 非常時には、医師・看護師・病院職員の指示に従って、落ち着いて行動してください。
- 非常時には、エレベーターは絶対に使用しないでください。
- 火災を発見した時、不審者を見かけた場合、また不審物がありましたら、すぐに医師・看護師・病院職員にお知らせください。
- 防犯の都合上、貴重品の持ち込みはご遠慮願います。病棟でお預かりはしていません。自己管理をお願いします。
- 入院中に病院専用のICカードをご利用される方は、カード番号を必ずメモして保管してください。（盗難時重要となります）
- 入院中の持ち物等の紛失については、責任を負えませんので、有料ロッカーをご利用ください。
- 防犯相談担当が院内巡視をしています。

VI 入院費のお支払いについて

1 入院中の請求について

- 入院費は、毎月末で締め切り、翌月の 10 日頃に請求します。
- 請求書がお手元に届きましたら、記載された期日までにお支払いください。

2 退院時の請求について

- **退院時には、退院日までの入院費をお支払いください。**
- 会計の準備ができましたら請求書をお渡ししますので、病室でお待ちください。
- 土日祝日等に退院される場合は、支払確認書を記入し、後日のお支払いとなりますのでご了承ください。
- 入院費の概算については、「入退院センター」へお問い合わせください。
- 退院日に診療費の確定ができない等の理由により、退院後に追加の診療費を請求させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

支払時間：平日の午前8時30分～午後5時30分

救急受付は平日の午後5時30分～翌午前8時30分（土日祝日は終日）

支払場所：入退院センター 外来会計窓口⑩番 救急受付

（上記場所に自動支払機を設置しておりますのでご利用ください。）

支払方法：現金、クレジットカード、デビットカード

◆クレジットカードご利用の際の注意点

※現金と併用はできません。

※利用限度額を事前にご確認ください。

※ビザ・マスター・JCB・アメリカンエクスプレス・ダイナース・ニコス・UFJ・DC・ディスカバーカードがご利用できます。

◆デビットカードご利用の際の注意点

※事前に利用限度額、口座残額をご確認ください。

- 保険証が変更になった場合は、必ず「入退院センター」にお申し出ください。お申し出がない場合には、全額自己負担になる場合があります。
- 領収書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。
- 入院費についてご不明な点がございましたら、お支払いの前に「入退院センター」までお問い合わせください。
- お支払いが滞り、当院からの再三のお願いにもかかわらず、お支払いいただけない場合には、医療費未収金回収業務委託先である【弁護士法人舘野法律事務所】よりご連絡させていただくことがあります。

3 各種診断書・証明書について

- 入院中または退院後に診断書や証明書が必要になった方は、けやき棟1階 11 番窓口でお申し込みください。ご本人以外（家族を含む）のお申し込みの際には、「診断書等に係わる申請・受取同意書」が必要となります。書類作成には1か月程度の日数をいただいております。また、診断書・証明書の 内容や証明期間により、さらにお時間を要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点がございましたら、けやき棟1階 11 番の診断書担当窓口にご相談ください。

診断書・証明書・書類等受付

受付窓口 ▶ 診断書受付

受付時間 ▶ 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝休日は除く）

VII 「医療安全」についての 病院からのお願い

1 お願い

- 外来または入院の主治医が患者さんと合意した診療目標を達成するために、本院は誠実に努力いたしますので、診療にご協力ください。しかしながら現代の医学でも、病状や人の生死は必ずしも自由になるものではありません。また、強力な薬や検査・治療には一定の確率で副作用や合併症が生じますが、そのリスクを完全に回避することはできません。不幸にして、副作用や合併症で苦しむことになった場合でも、本院は、それを診断して治療します。その診療は健康保険を用いて行い、当該の診療費用を請求いたします。本院の診療に過失があった場合には、それに起因する診療費用は請求いたしません。さらに、身体損害が発生した場合には、その損害を補償いたします。ただし、それが本院の過失に起因するものでない部分は、この限りではありません。
- 診療を受ける際には、ご自身の健康状態に関する情報をできる限り正確に提供してください。情報が正確に提供されなかった場合、本院はその後の病状に関する責任を負えないことがあります。また、情報が正確に提供されなかった場合、患者さんに何らかの損害が生じても本院はその損害を補償できない場合があります。
- 本院で診療を受ける方は、説明と情報提供を受けたうえで、診療方針等を自らの意思で選択することができます。
- 多数の方や救急患者への対応等のためにご迷惑をおかけすることがありますが、予めご容赦願います。お気づきの点がありましたら、近くのスタッフにお声を掛けてください。

2 確実な本人確認

- 確実な本人確認のため、氏名（フルネーム）と生年月日を確認させていただきますのでご協力ください。

3 ネームバンドの装着

- 入院中は必ずネームバンドを装着してください。ネームバンドは、点滴や輸血等を正しく行うために使います。入院中は外さないようにお願いします。

4 転倒・転落予防のご協力

- 入院中は、不慣れな環境や病状の変化により、ささいな事で思いがけず転んでしまうことがあります。当院では、転倒・転落に十分注意し、安全で快適な入院生活を送っていただけるよう予防対策をしております。しかし患者さんご自身で動く事により発生する転倒・転落を完全に防ぐことはできません。転倒・転落を起こすと、出血や骨折などで本来の病気以外の新たな治療が必要になる場合があります。予防のためには、スリッパではなく、踵のある靴などをはいてゆっくり移動をしてください。寝るときは必ずベッド柵を立てて就

寝てください。ご自身の体調を過信せず、医療スタッフのアドバイスに従ってください。

5 鎮静と身体拘束

- 検査や処置等の診察で、苦痛や不安を和らげるためや検査を正確に施行するために、鎮静が必要なことがあります。鎮静は医師が適切に行いますが、適切に行ったとしても使用する薬剤などの影響で窒息や呼吸停止の危険があります。また、身体に挿入された点滴などの大切な管を患者さんが無意識に抜いてしまうことがあり、このような場合重要な薬剤が途絶え血圧低下など有害事象を引き起こします。そこで、これらの大切な管の抜去を防ぐため、手足の動き等を制限する身体拘束を行う場合があります。鎮静や身体拘束をする場合には、事前にご説明しますので納得できましたら、同意書に署名してください。

6 薬の管理

- 普段使用しているお薬については、全て医療者にご相談ください。ご自身の自己判断で使用しないでください。
- 患者さんの薬の管理に関しましては、誤薬等のないよう注意を払っていますが、退院後の生活を見据え、患者さんご自身でも、薬の自己管理を行っていただけますよう、ご協力をお願いします。

7 感染対策について

- 病院には高齢の方や乳幼児など免疫力の弱い方が大勢いらっしゃいます。院内感染対策にご協力ください。
- 病室への出入り時及びトイレの使用後は、手を洗うか、備え付けのアルコール製剤で手を消毒してください。
- 咳・くしゃみをする時は、ティッシュペーパーあるいはハンカチなどで口・鼻を覆ってください。使用したティッシュペーパーはすぐに捨て、その後よく手を洗ってください。咳・くしゃみが続く場合は、マスクを着用していただきますようお願いいたします。（各自ご用意ください。）
- 新型コロナウイルス感染症・インフルエンザなどの呼吸器系感染症の流行期には、より詳細な情報提供やマスクの常時着用をお願いすることがあります。
- 身近（家庭・職場・学校など）に次のような方がいた場合担当医師あるいは看護師にその旨をお伝えください。
※3日以内に「38℃以上の発熱」「強い寒気・全身のだるさ」「下痢」「吐気・嘔吐」があった場合。
※4週間以内に「広範囲の発疹・水疱」「耳周辺の腫れ」があった場合。
- 生花・鉢植えは持ち込まないでください。

マスク、手洗い
等のご協力をお
願いします。



8 個人情報保護に関するお知らせ

- 本院では、安心して医療を受けていただくために、個人情報の保護についても取り組んでおります。
- 病室入口へのお名前の表示については、看護師から入院時に説明させていただき、了解を得た患者さんのみ表示させていただいております。

9 カルテ開示について

- カルテ開示は医療支援課で対応いたします。開示希望や不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。

医療支援課

TEL **029-853-3902**

受付時間 ▶ 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝休日は除く)

VIII 患者相談について

本院は、患者さんやその家族の方からの生活上及び入院上の不安など、様々な相談に対応する窓口(患者サポートデスク)を下記のとおり設置しております。

相談内容としては、医療福祉、在宅移行・転院調整・退院支援、がん、難病、看護、栄養、こころ、苦情、診療費、薬剤、カルテ開示、リハビリ及び医療の質と安全などに関するものです。

相談に当たりましては、院内の各部門と密接に連携の上、実施します。

なお、病気や診療内容に関するご相談は、お受けできませんので受診の上、医師にご相談ください。

相談内容については秘密厳守はもとより、相談により不利益を受けることはありませんので、お気軽にご相談ください。

患者サポートデスクの設置場所

T E L ▶ **029-896-7134** 相談日 ▶ 月曜日～金曜日(祝休日は除く)
受付時間 ▶ **9:00～17:00** 設置場所 ▶ けやき棟1階12番窓口
(入退院センターの隣)

なお、がんに関しては、「がん患者就労支援相談」と「ピアサポート相談」もあります。ご関心のある方は、患者サポートデスクにおたずねください。

- がん患者就労支援相談〈予約制・無料〉
社会保険労務士(外部契約)による相談
相談日 ▶ 毎月第三木曜日 相談時間 ▶ 13:00～16:00
- がん体験者によるピアサポート相談「筑波大学窓口」〈予約優先・無料〉
がん体験者である仲間(ピアサポーター)による相談
相談日 ▶ 毎月第一木曜日 相談時間 ▶ 13:00～15:30



Ⅸ 利便施設について

COVID-19の影響により、営業時間等が変更となる場合があります。

A 棟 3 階

食堂

和食、洋食、中華など、健康に配慮した豊富なメニュー
でお待ちいたしております。広々とした空間は、車椅子
の方やお子様連れの方も安心してご利用できますの
で、ゆったりとお過ごしてください。



営業時間 ▶ 平日 10:00~16:00 年末年始 休業

けやき棟 1 階

オープン カフェ



タリーズコーヒー

スペシャルティコーヒーショップとして、どなたにもご満足いただける
一杯を丁寧に手作りしてご提供しております。ゆったりくつろげる空
間、そしておもてなしの心をこめて、お客様とのコミュニケーション
を大切にします。お食事としてタリーズモーニング、パスタ、サンドイッ
チ、デニッシュ、スイーツなどもご用意しております。

営業時間 ▶ 平日 7:30~20:00

けやき棟 12 階

展望ラウンジ

筑波山が眺望できる展望ラウンジを、8 時 00 分から 18 時まで開
放しており、どなたでもご利用いただけ、自販機コーナーを隣接し
ております。

ご利用時間 ▶ 8:00~18:00
※イベント等によりご利用いただけない場合がございます。

サテライト 売店

コンビニ【ヤマザキ Y ショップ】

食料品の他、雑貨の販売を行っております。

営業時間 ▶ 平日 7:00~18:00 土・日・祝日及び年末年始 休業

その他

衛生用品自販機

けやき棟 1 階コインロッカー・自販機コーナーに設置しております。
(丁字帯、ナプキン、オムツ、腹帯、浴衣等)

コインロッカー

けやき棟 1・8 階コインロッカー・自販機コーナーに設置しております。
(大 4 口 1 台、小 8 口 1 台)(大 6 口 1 台)

コインランドリー

病棟各所の洗濯室に設置しております。洗剤自動投入型になります。
持ち込み洗剤の使用はできません。

公衆電話

院内各所に設置。テレホンカードは売店で販売をしております。

IC カード チャージ機

けやき棟 7 階～11 階食堂ダイルーム、5 階産科病棟前室、6 階東
病棟談話室、B 棟各階に設置しております。

IC カード発行 精算チャージ機

けやき棟 1 階エレベーターホール前に設置しております。

自販機

院内各所に設置しております。

桐の葉モール

スターバックス コーヒー

アメリカシアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。
高品質のアラビア種コーヒー豆から抽出したエスプレッソ
がベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サン
ドイッチをお楽しみいただけます。またコーヒー豆やコーヒー抽出器
具、マグカップなどのオリジナル商品もご用意しております。



営業時間 ▶ 平日 7:30～19:30 土・日・祝日 10:00～18:00 定休日：不定休

コンビニエンス ストア

ホスピタルローソン

食料品、書籍、衣料品、日用雑貨、各種医療消耗品、介護用品、
化粧品、入院・手術用品等を販売しております。宅急便取次、
収納代行、切手類の販売、コンビニ ATM

営業時間 ▶ 平日 7:00～21:00 年中無休
正面玄関の開門は7:30ですご注意ください。

理容室

ヘアサロンこもれび

カット、カラー、パーマ、カツラ、病棟へのお出張カット
※患者さん以外の方もご利用可能です。

営業時間 ▶ 平日・土曜日 9:00～18:00 日・祝日及び年末年始 休業

病院職員の過重労働軽減に関するお願い

昨今、医療従事者の過重労働が問題とされており、労働環境を改善することを目的とした委員会が厚生労働省で立ち上げられました。当院でも時間外勤務が増加し、休日もなかなか取れない状況に陥っております。医療従事者にも休息は必要です。そのため、医療従事者の業務負担軽減についてさらなる対策を行いたいと考えています。

患者さんやご家族の皆様には以下についてご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

ACTION 1

病状の説明や手術・処置の説明は原則勤務時間内に行います。
(平日 8:30～17:15)

これまで、上記説明については、ご家族の希望を優先させていただいてきましたが、夕方以降の夜間になることが多く、医療従事者の慢性的な超過勤務状態が続いております。

これを解消するため**医療従事者からの説明やご相談は原則勤務時間内に設定**させていただきます。ただし、診療等の関係や緊急事態の場合はこの限りではありません。



ACTION 2

土日、祝日、平日夜間は当直・当番医師が主治医に代わり責任をもって対応します。

土日、祝日、平日夜間の診療については、当直医や当番医師が対応させていただきます。

必要に応じて受持ち医や主治医と連絡をとりながら適切に診療をおこないますのでご安心ください。



ACTION 3

必要時以外の臨時外来受診を控え、救急外来診療の適切な利用をお願いします。

本院の救急外来は主に救急集中治療部や病院全体の医師が交替で対応しており、必ずしも専門的な診察が行えない場合があります。病状に変化がある場合や心配なときは**極力通常の診察時間内での受診**をお願いします。

また、本院の救急外来は、近隣病院や県内救命救急センターでは対応できない重症患者の受入れも大きな任務の一つであり、**軽い風邪など日常的な疾患については近隣の医療機関への受診**をお願いします。

本院の医療レベルを保ち、医療従事者の健全な労働環境を維持するために患者さん、ご家族の皆様のご理解とご支援をいただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

筑波大学附属病院長

X 交通のご案内

① つくばエクスプレス（TX）ご利用の場合

つくば駅（出口A3番）つくばセンターからバス5分

つくばセンター6番のりば

- 「つくばセンター～筑波大学循環（右回り）」
- 「筑波大学中央」行き→「筑波大学病院入口」で下車

つくばセンター5番のりば

- 「石下駅」行き→「筑波大学病院」で下車
- 「下妻駅」行き、「建築研究所」行き→いずれも「春日1丁目」で下車
- 「筑波大学病院」行き→終点で下車

② JR常磐線ご利用の場合

土浦駅からバス30分

西口3番のりば

- 「筑波大学中央」行き→「筑波大学病院入口」で下車
又は、「つくばセンター」行き→終点で下車し、乗り換え（①に同じ）

荒川沖駅からバス25分

西口4番のりば

- 「筑波大学病院」行き→終点下車 他、乗車バスの行先等は、土浦駅の場合と同じ。

ひたち野うしく駅からバス30分

東口1番のりば

- 「筑波大学病院」行き→終点下車 他、乗車バスの行先等は、土浦駅の場合と同じ。

③ 高速バスご利用の場合

東京駅から70分（直通あり）

東京駅八重洲南口2番のりば

- 「筑波大学」（つくば号）→「筑波大学病院入口」で下車
又は、「つくばセンター」行き→終点で下車し、乗り換え（①に同じ）

水戸駅から90分

水戸駅北口8番のりば

- 「土浦駅東口行き」→「つくばセンター」で下車
又は、「つくばセンター行き」→終点で下車し、乗り換え（①に同じ）

④自動車ご利用の場合

常磐自動車道

桜・土浦 I.C から15分

- つくば方面出口から大角豆（ささぎ）交差点を右折、東大通りの妻木（さいき）交差点を左折、2つ目の信号を右折、次の信号を左折
- 国道6号線 土浦バイパスと土浦学園線との交差点から15分、土浦学園線の学園東交差点を右折、妻木交差点を左折、2つ目の信号を右折、次の信号を左折

国道6号線

ひたち野うしく駅近く、西大通り入口から20分

- 西大通りの春日3丁目交差点を右折



臓器提供意思表示カードなどの提出のお願い

本院ではコーディネーターを配置しております。
臓器提供の意思を記載したカードなどお持ちの患者さんは、
入院時に医師または看護師にお知らせくださいますよう
お願いいたします。



この入院のしおりは、病院約款にもとづき作成しています。
病院約款については、筑波大学附属病院のホームページをご参照ください。

<https://www.hosp.tsukuba.ac.jp>



M E M O



PATIENT HANDBOOK

入院のしおり

入 院 さ れ る 方 へ

筑波大学附属病院

University of Tsukuba Hospital

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1の1

お問い合わせ [入退院センター] 029-853-3567

[救 急 受 付] 029-853-3110